

栃木市監査委員告示第8号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

令和元年11月13日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 茂 呂 健 市

1. 監査の実施日 令和元年10月24日

2. 監査の対象 こども未来部

子育て支援課 保育課

3. 監査の方法

令和元年9月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。

4. 監査の結果

次のとおり

こども未来部

◎ 子育て支援課

1. 事務組織及び職員

子育て支援課には5係が置かれ、課長ほか27名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

子育て支援係では、子育て応援企業登録制度事業、子育て世代応援テレワーク推進事業、栃木市子ども・子育て支援事業計画策定事業等が行われた。

こども育成係では、児童扶養手当支給事業、児童手当支給事業、赤ちゃん誕生祝金事業、民間児童館活動推進事業、民間保育所地域子育て支援拠点事業、(仮称)子育て支援施設子どもの遊び場整備事業、児童館運営事業、地域子育て支援センター運営事業等が行われた。

学童保育係では、学童保育事業等が行われた。

児童家庭係では、家庭児童相談事業、母子父子自立支援事業等が行われた。

こどもサポートセンター係では、発達障がい者等相談支援事業、就学前障がい児等発達支援事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 2,547,947,000 円に対し、収入済額 1,171,006,453 円で 45.96%の収入率である。

その主なものは、学童保育事業負担金、児童手当国庫負担金、児童手当県負担金である。

一般会計の歳出は、予算現額 3,673,513,000 円に対し、支出負担行為額 1,512,238,121 円で 41.17%の執行率である。

その主なものは、民間児童厚生施設等活動推進事業費補助金、児童館管理運営業務委託料、児童扶養手当、民間保育所地域子育て支援センター補助金、児童手当、学童保育支援員賃金、放課後児童健全育成事業委託料である。

一般会計の歳出(繰越明許)は、予算現額 2,063,000 円に対し、支出負担行為額 2,063,000 円で 100.00%の執行率である。

その内容は、子どもの遊び場基本設計・実施設計委託料である。

一般会計の歳入(逡次繰越)は、予算現額 32,179,000 円に対し、収入はない。

一般会計の歳出(逡次繰越)は、予算現額 119,799,000 円に対し、支出負担行為額 64,695,240 円で 54.00%の執行率である。

その主なものは、旧下都賀総合病院北病棟解体工事請負費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 保育課

1. 事務組織及び職員

保育課には13係が置かれ、課長ほか118名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

保育管理係では、保育所等の指導及び管理運営事務、保育所第三者評価委託事業、保育所等の整備事業等が行われた。

入園支援係では、保育事業、施設型給付及び地域型給付事業、延長保育事業、低年齢児保育促進事業、特別支援保育促進事業、一時預かり事業、幼稚園等教育助成補助事業等が行われた。

保育園係（いまいずみ、くらのまち、おおつか、はこのもり、大平西、大平南第1、大平南第2、藤岡は一とらんど、都賀よつば、いわふね）では、10市立保育園に874名の児童が在籍し、保育事業等が行われた。

認定西方なかよしこども園係では、142名の児童が在籍し、保育事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額2,435,451,000円に対し、収入済額144,350,995円で5.93%の収入率である。

その主なものは、保育所児童保育費負担金、民間保育所等児童保育費負担金である。

一般会計の歳出は、予算現額4,173,133,000円に対し、支出負担行為額1,627,795,697円で39.01%の執行率である。

その主なものは、保育園給食調理業務委託料、市内外民間保育所等運営委託費、嘱託保育士報酬、臨時保育士賃金、保育所電気料・水道料、園児給食材料費、施設型保育施設・地域型保育施設給付費負担金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。